

人口減少社会に対応する行政運営のあり方研究会
「水道事業の広域連携」作業部会 状況報告

平成29年11月8日

1 作業部会設置の目的（ねらい）

水道事業については、施設等の老朽化に伴う大量更新期の到来や、人口減少に伴う料金収入の減少等により、経営環境の厳しさが増しており、経営健全化が一層求められていることから、抜本的な改革のひとつとして、広域連携について検討を行うものである。

2 これまでの活動実績

平成28年11月9日の総会において設置された作業部会で、次のとおり報告、提案等を行った。

回	月日	主な活動（協議）内容
第1回	2月10日	(1) 水道事業の広域連携に向けた調査結果の報告 (2) 今後の活動計画についての提案 ～事務の共同実施・施設の共同利用～

3 本年度の活動実績

本年度の作業部会では、次のとおり研修、提案等を行った。

回	月日	主な活動（協議）内容
第1回	6月2日	(1) 水道事業経営の危機と広域連携についての総務省地方公営企業等経営アドバイザー（自治体OB）による講義 (2) 広域連携の検討の進め方や、水道法改正法案を始めとする国の動向などについての事務局からの説明

4 今後の活動予定

- (1) 本年度第1回作業部会で説明した「事務の共同実施」の検討に当たって、広域連携の対象業務、相手方、手法等に関する意向確認を行う。
- (2) 県内水道事業が抱える職員数の減少や、高齢化に伴い技術ノウハウの継承や適正な施設管理が困難となる可能性があることから、次により今後の技術支援に関する有効な方策を検討する。

ア 各市町村の現況についての資料収集

イ 各市町村が抱える技術的な課題、求める支援等を整理

ウ 市町村の枠組みを超えた広域的な技術支援が必要な業務の選定等